月刊 あなたにこの本を！ 平成 27 年 2 月号

大阪市立図書館 「あなたにこの本を！」選定委員会

大阪市立図書館が購入した新しい本の中から、図書館員のおすすめの本を紹介します。

…字が大きめ　…中高生にも　…図・写真が多い

※価格のあとの（ ）内の番号は、大阪市立図書館書誌 ID です。

大阪名所図解=THE OSAKA DESIGN

綱本武雄　画
酒井一光、高岡伸一、江 弘毅　著
140Ｂ　1600 円　(0013222317)

ジャンル ： 大阪にゆかりの本

大阪城、住吉大社といった歴史的建造物だけが大阪の名所ではない。日常に点在するビルや橋、駅、店の造りはその建物が建っている地域の特性を現している立派な大阪の名所だ。本書では、その大阪の誇るべき建物の数々を、「城郭・寺社」と「街のランドマーク」の２分野に分け、綱本氏の精微なイラストと共に解説する。屋根や室内装飾などの細部を図解、その建物を楽しむコツについてのコラムも充実している。本書を片手に大阪の街に出かけてみたくなる。〔521〕

美術、応答せよ!
ー小学生から大人まで、芸術と美の問答集ー

森村泰昌　著
筑摩書房　1800 円　(0013050573)

ジャンル ： 知識・教養を深める

本書は美術家の著者が、小学生や大学教授、教師、編集者、著名人など多種多様な 32 人から美術に関する 37 の質問を受け、それに答える美術問答集だ。「作品が完成するとは」「美にとって政治とは」「いも虫だったら、どんな蝶（ちょう）になりたいですか」など様々な質問に、著者が真摯に向き合っている。時に哲学的に、時に易しい言葉で、自身の惑いも交えながら紡がれる「応答」からは、美術への深い思いと、著者の芸術観や人生観が伝わってくる。〔704〕

オペラ座のお仕事
ー世界最高の舞台をつくるー

三澤洋史　著
早川書房　1600 円　(0013330571)

ジャンル ： 生き方・考え方に学ぶ

著者は、舞台上の合唱団に客席後方から指揮をして、公演指揮者を助ける合唱指揮者だ。本書では、著者が指揮者になるまでの道のりや、オペラ公演の舞台裏等を語る。ある公演で、ペンライトで合唱団を指揮する著者は、自分の指揮だけを見るように要求する公演指揮者と対立した。この対立から対話が生まれ、両者の信頼が培われた。強烈な個性の音楽家や演出家達と、最高の舞台を作り上げるために議論を戦わす日々を楽しむ著者の、音楽への愛にあふれた一冊だ。〔766〕

YouTube で食べていく
ー「動画投稿」という生き方ー

愛場大介　著
光文社　740 円
(0013090066)

ジャンル　：　現代社会を見つめる

動画共有サイト「YouTube」に動画を投稿し、広告収入を得る人が増えている。本書は、長く動画投稿に関わってきた著者が、そのコツや最新事例等をわかりやすく紹介する。また、「ユーチューバー」と呼ばれる人気投稿者の談話も掲載し、再生回数を得やすい動画と自分の見せたい動画とのズレに苦しむ姿も描かれる。「動画投稿だけで暮らすのは難しいが、仕事の幅を広げてくれた」と著者は言う。新しい働き方や生き方の可能性を示す、動画投稿のススメだ。〔547.84〕

わたし、解体はじめました
ー狩猟女子の暮らしづくりー

畠山千春　著
木楽舎　1500 円
(0012945066)

ジャンル　：　生き方・考え方に学ぶ

震災をきっかけに自給自足について考え始めた著者は、自分の暮らしを自分で作るべく様々なチャレンジをしてきた。そのうちに食用肉を自分で準備してみようと鶏の解体に挑戦する。生きていた動物を解体して口に入れることで、食事は「もの」を食べるのではなく「命」をいただくことだと実感したという。命について見つめ直すきっかけとなる一冊だ。巻末に狩猟免許の取り方、鶏の解体方法など「解体・狩猟を始める入門ガイド」も収録している。〔648〕

関西鉄道遺産
ー私鉄と国鉄が競った技術史ー

小野田 滋　著
講談社　1000 円
(0013324893)

ジャンル　：　知識・教養を深める

関西の私鉄は駅にデパートを併設するという新しい発想で発展を遂げ、国鉄は日本全国をつなぐ鉄道網を敷設した。本書では、近畿地方の私鉄と国鉄がそれぞれの技術を結集し建設した駅舎や橋梁（りょう）などの鉄道遺産を取り上げ、解説する。現存する最古の駅舎である長浜駅や旧十三川橋（浜中津橋）など、貴重な鉄道遺産の建設当時の古い写真や設計図が多数掲載されている。普段利用している鉄道や駅舎に、どのような歴史があるか調べてみたくなる。〔686〕

画題で読み解く日本の絵画

佐藤晃子　文　須山奈津希　イラスト
山川出版社　1800 円
(0013137433)

ジャンル　：　知識・教養を深める

日本の古美術絵画は「白衣観音図」「虎渓三笑図」など、漢字ばかりの画題が多い。それは元々無題のものが多く、後から描かれた内容を見たまま説明する画題がつけられたためだ。本書では、よく画題となる「達磨」「源氏物語」「富士山」等の主な 50 のテーマを取り上げる。「寒山・拾得」はボサボサ頭で笑う2人組が描かれるなど、それぞれの画題の特徴をわかりやすいイラストで紹介し、代表作の図版も添えて解説する。より深く日本画を味わうための入門書だ。〔721〕